05年度~07年度 中期経営計画実現に向けて

> 2005年9月29日 株式会社シーイーシー

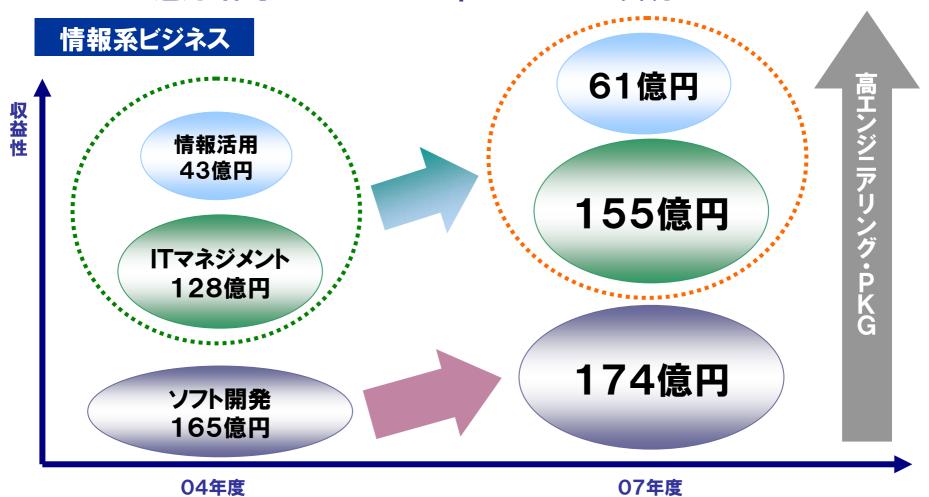
中期経営計画 ビジネスの方向性



売上高500億円 経常利益率8%実現に向けて

情報系ビジネス・制御系ビジネスを2つの柱に、

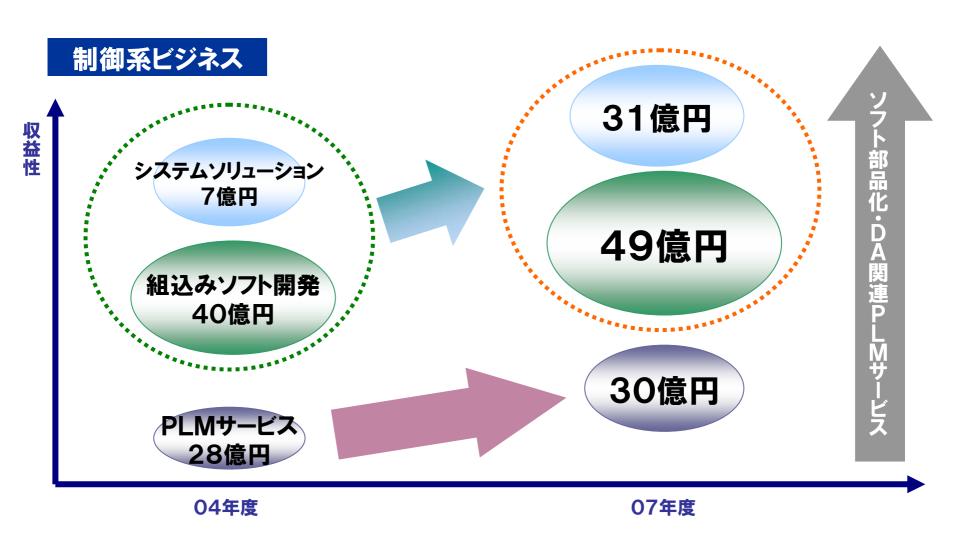
コンサルから運用・保守までのOne Stop Solutionを実現



中期経営計画 ビジネスの方向性



情報系ビジネス・制御系ビジネスを2つの柱に、 コンサルから運用・保守までのOne Stop Solutionを実現



資本提携による業容拡大

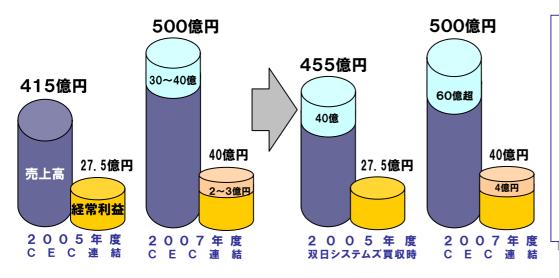


■ 2005年4月の双日システムズ社買収により、 M&Aの当初売上計画値を超える

買収前 中期経営計画の策定時、M&Aによる 売上拡大を30~40億に設定

関収後 7007年度売上計画は、 7007年度売上計画は、 7007年度売上計画は、

利益についても下記シナジー効果により 連結8%を維持



双日システムズ社とのシナジー効果

- ◆顧客基盤の拡大双日グループへのCECのサービス提供
- ◆商社、流通向け業務ノウハウの活用
- ◆GRANDIT*1等双日システムズの持つ製品・サービスの提供
- ◆LSRビジネス(RMW等)の国内市場開拓促進
- ◆データセンター事業の効率化(国内5ヶ所)

%1 GRANDIT

BI(ビジネスインテリジェンス)、EDI(電子データ交換)、ワークフロー等を標準搭載したERPパッケージ。中堅企業向けながら、大企業にも必要とされる機能を豊富に盛り込む。



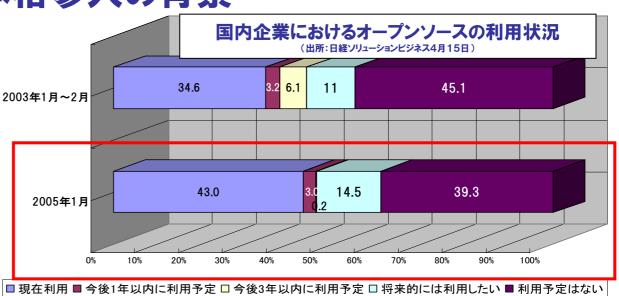
今後シナジー効果が期待できる企業のM&Aを促進

新たな注カ分野・オープンソースソフトウエア(OSS)事業



OSSビジネスへの本格参入の背景

- ■OSS市場の活性化
- ◆官公庁の導入
- ◆民間企業の活用
- 1,000人を超える大手企業の導入率50%を超える
- ◆基幹システムへの適用
- ■ユーザーニーズの高まり
- ◆コストの削減
- ◆特定ソフトベンダーからの脱却
- ◆Linuxサーバなどの普及が加速
- ◆ソフト品質の向上



- OSS導入にあたっての主課題
- ◆自己責任による導入(自社で検証・テストが必要)
- ◆保守・サポートには高い技術が必要

OSSの課題(ニーズ)を解決するビジネスが求められている

来年度からOSS市場の本格化を確信

※オープンソースソフトウェア(OSS)とは

オープンソース・ソフトウェアは、ソース・コードが公開され誰でも自由に改変することができるソフトウェア。

新たな注力分野・オープンソースソフトウエア(OSS)事業



CECの取り組み

OSSビジネス「Open Source Expert」を将来の柱に



- OSS推進チーム(専任20名)によりスタート
- ●8月にSpikeSource社と提携し、9月より保守・ 検証サービスを開始
- ●10月-米国企業と提携し、CRM関連ビジネスを開始
- OSS部門を設置し、本格サービス提供開始

■売上100億円ビジネスへ

【情報系ビジネス 70億円】 【制御系ビジネス 30億円】

> □【情報系】 ソフト開発10億円



情報活用ソリューション 20億円

新たな注カ分野-オープンソースソフトウエア(OSS)事業



spike SpikeSource社との連携ビジネス

CEC

コンサルテーションから運用、保守までの One Stop Solution

検索

←CECのOSSオフィシャルサイト http://www.cec-ltd.co.ip/oss/



オープンソースソフトウエアの信頼性を高め、導入・技術支援から開発・構築、検証サービスをご提案します。 シーイーシーは、スパイクソース社との提携によりサービスをご提供しています。

Copyright@2005 SpikeSource, Inc. and Computer Er

コンポーネント情報

▶詳細はこちら(日本語)

ブロファイル - MySQL等のオーブ ンソースプロジェクトに関する情報 をご覧いただけます。

ビルド - ジェロニモなど、オープン ソースプロジェクトのための、コード 変遷に伴うビルドやテスト結果をご 覧いただけます。

ニュース - Strutsなど、オーブンソ ースプロジェクトニュースをご覧い ただけます。

コントリビューション - 皆さんから オーブンソースの情報を集めていま す。

→ ダウンロード

▶ 詳細はこちら(日本語)

コアスタック - 50以上のオーブン ソースコンポーネントを、統合・検証 し実装可能な状態のスタックです。

バートナースタック - コアスタック 上で動作検証されているパートナー のソリューションです。

Spike アセットマネージャー - 使 「テストサービス - コア」 用しているオーブンソースの情報を 管理できます。

Spike PHP カバレージ - PHP ス クリプトのコード範囲を測定し、記録 上することができます。

オープンソーステスト

▶詳細はこちら(英語)

コアスタックテスト結果 - コアスター ックに関する品質を確認することが できます。

プロジェクト・テスト - | ど、オーブンソースブロジ スト結果を確認できます

使用するアブリケーショ ードするとテスト結果を進

APIs - アブリケーション ードして、その結果にアク ウェブサービスです。

一 サービス購入

▶詳細はこちら(日本語)

アップデート・サービス - セキュ リティの欠陥や、製品機能のアップ グレード等に対応するアップデート サービスです。

【サービス提供例】

◆コアスタックダウンロード(無償) ◆アップデートサービス(15万8000円/年/1サーバ)

◆サポートサービス

	インシデント数	問合せ方法	受付時間	価格(千円/1年)
Silver	10	E-mail	平日9-18	850
	20	E-mail	平日9-18	1,750
Gold	10	E-mail、TEL FAX	平日9-18	1,750
	20		平日9-18	3,500
Premium	無制限	ALL	24H × 365D	27,000~

※コアスタックとは

SpikeSource社がサポートするOSSコンポーネント組合せ。その数は およそ70種類以上にのぼる。

中期経営計画に基づく注力事業の現況(1)



07年度当初計画売上高10億円から20億円に上方修正

■セキュリティソリューション 個人情報保護対策、e文書法による

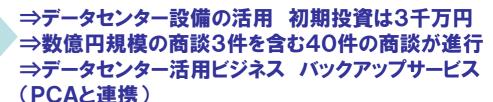
セキュリティ需要の拡大



- ⇒05年度売上高4億円から7億円に拡大
- ⇒IDカードシステム「SmartSESAME」ベースのPC ログオン、プリントセキュリティ(オムロン、キヤノン販売 と連携)の拡大
- ⇒医療分野向けセキュリティ(コニカミノルタと連携)、 工場向けセキュリティに注力
- ⇒e-文書法対応の総合管理ソリューションを開始

07年度30億円を達成 10月 東京データセンターの開設

■データセンタービジネス データセンターの需要拡大、特に 都市型データセンターのニーズが増加



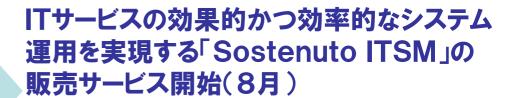
⇒データセンター活用ツール ファイルマネジメントASP サービス「D-Share Intelligence」

中期経営計画に基づく注力事業の現況(2)



■ITILを核とした ITマネジメントサービス

IT投資の70%近くが運用コスト



⇒自社データセンターでITIL導入 導入効果 コスト削減につなげる

■制御系ビジネス 組込みソリューションの拡大続く



- ⇒組込みデータベース「Linter」の拡販 実績数社、商談数30件 07年度以降の製品への搭載へ
- ⇒組込みソフトウエアの部品化
- ⇒組込み技術者の確保、育成

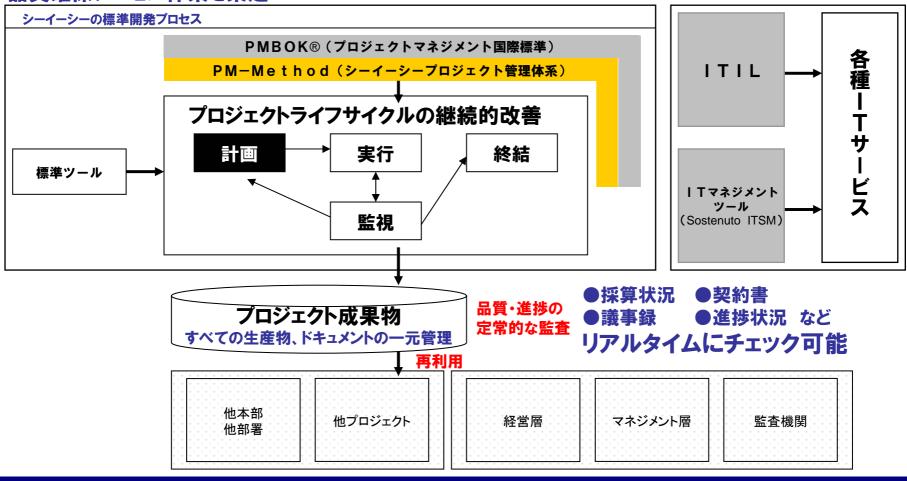
経常利益8%確保へ向けて



- 不採算プロジェクト再発防止
- ■原価率の低減・・

- ****▶ 3年後 原価率1%減へ
- 中国オフショア開発の活用

品質確保プロセス体系を策定



人材育成計画



ビジネス推進に必要なスキルを持った真のITプロフェッショナルを育成



個人スキルを総合的に評価するCECSS(スキル標準)を策定

